

2025年3月期 第1四半期 決算説明資料

2024年8月2日



目次

- 1 2025年3月期 第1四半期 決算概要
- 2 2025年3月期 通期業績予想とトピックス
- 3 株主への利益還元
- 4 中期グループビジョンを通じた資本収益性向上の取り組み
- 5 サステナビリティの取り組み
- 6 参考資料

目次

- 1 2025年3月期 第1四半期 決算概要
- 2 2025年3月期 通期業績予想とトピックス
- 3 株主への利益還元
- 4 中期グループビジョンを通じた資本収益性向上の取り組み
- 5 サステナビリティの取り組み
- 6 参考資料

前期比：減収だがフジテレビの増益等で営業増益 計画比：ほぼ見込み通り

メディア・コンテンツ事業 減収増益

「配信」・「コンテンツ」ビジネス好調

フジテレビのイベントの反動減やDINOSのリビングの不調等により減収となったが、フジの配信広告、映画、デジタル、ポニーキャニオンの配分金、フジパシフィックミュージックの著作権使用料収入等が好調で、セグメント全体で増益

フジテレビ：減収増益（黒字化）

放送・メディア：増収粗利益増益

- ・タイム：レギュラーは減収、単発は微増収
- ・スポット：シェアの大きい業種が復調、6月は前年実績超え
- ・配信広告：前期比+62.1%、放送収入の減収をほぼカバー
- ・番組費：効率的に運用し減少

コンテンツ・ビジネス：減収粗利益増益

- ・イベント：「アレグリア」の反動減等で減収
- ・映画：二次利用好調で、コンテンツ・ビジネスの増益に貢献
- ・デジタル：FOD有料会員数の増加が続き増収

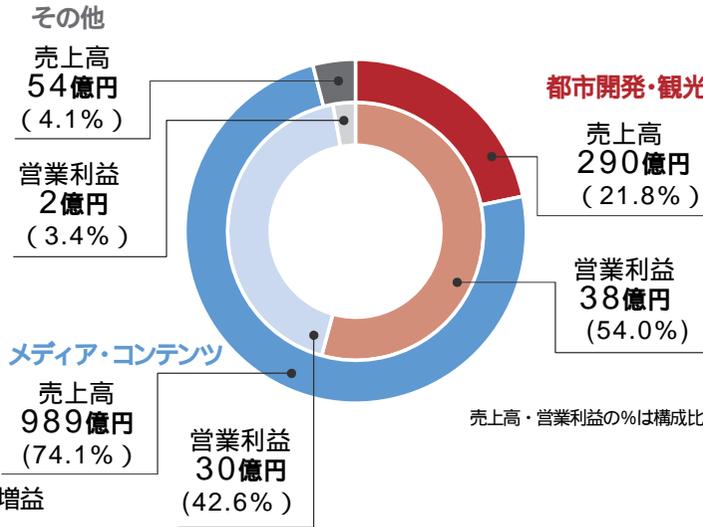
各社：前期比おおむね好調

- フジパシフィックミュージック：著作権使用料収入等好調
- ポニーキャニオン：アニメ作品少なく減収だが、原価等の減少で増益
- DINOS：リビング系不調だが、費用の見直しで赤字抑制

連結 減収増益

売上高
1,296億円
(2.0%減収)

営業利益
65億円
(17.0%増益)



都市開発・観光事業 増収減益

グランピスタのホテル好調

サンケイビルは大型物件売却の反動減等で減収減益、グランピスタはインバウンド需要等によりホテル事業好調「神戸須磨シーワールド」が6月1日に開業、物販等好調で増収だが開業先行費用あり、セグメント全体で増収減益

サンケイビル：減収減益

前年のオフィスや物流施設等の売却の反動減
レジデンス、オフィス、物流施設等の賃貸、販売・売却は、引き続き堅調

グランピスタ ホテル&リゾート：増収減益

ホテル事業がインバウンド等の観光需要を取り込み稼働率、客単価ともに上昇傾向で増収
「神戸須磨シーワールド・シーワールドホテル」6月1日開業、物販等好調だが先行費用あり

資本収益性の 向上策

自己株式取得：79億円実施
(7月末時点：今期150億円実施予定)
設備投資：115億円実施

通期 見通し

変更なし
連結全体では概ね予想通り推移
通期の連結業績予想は変更なし

連結ポイント

1. 2025年3月期1Q
決算概要

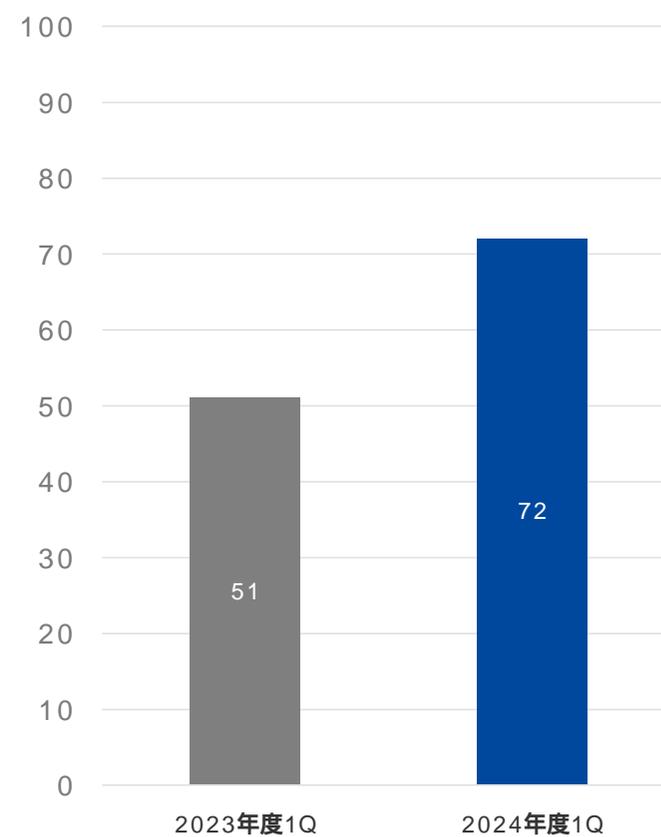
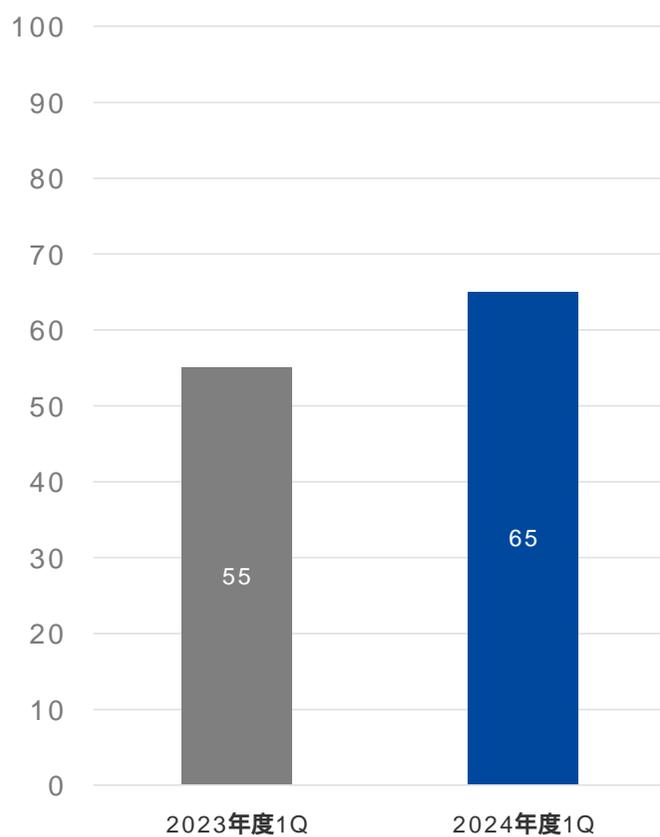
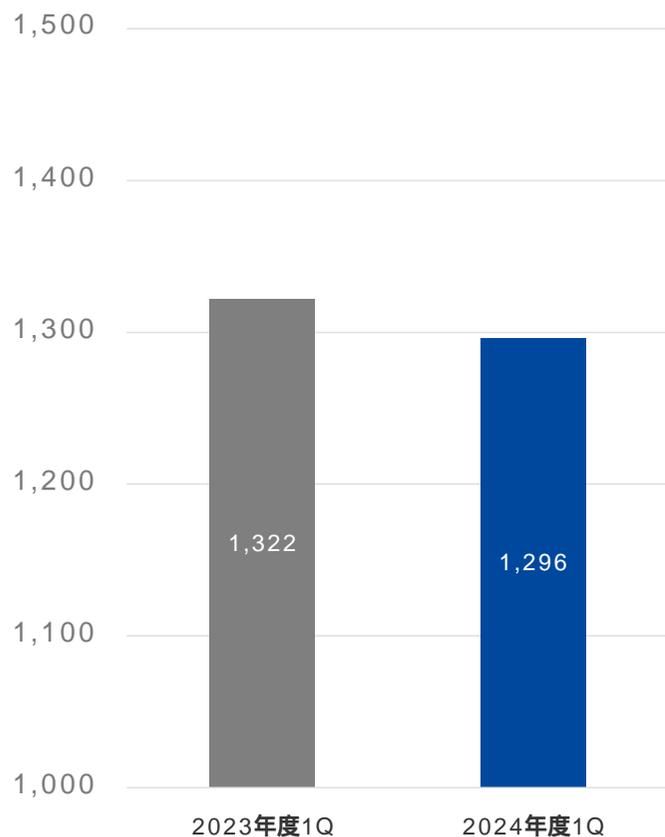
(単位：億円)

連結売上高：2.0%減収

連結営業利益：17.0%増益

親会社株主に帰属する

四半期純利益：40.2%増益



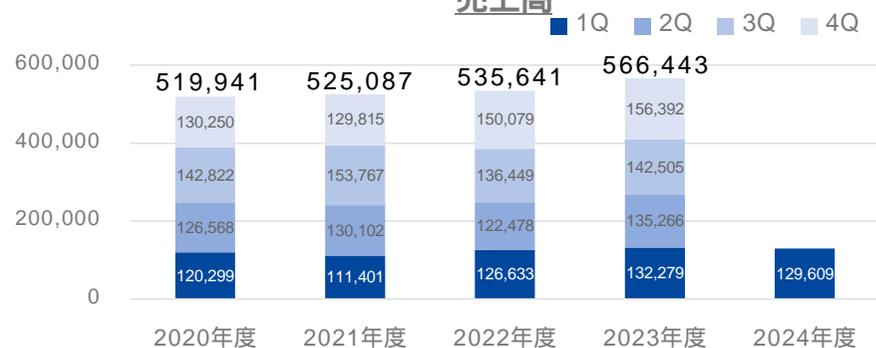
連結 決算概要

1. 2025年3月期1Q
決算概要

(単位：百万円)

	2023年度 1Q	2024年度 1Q	対前期増減		通期 業績予想 (24/5/9)	対通期予想 達成率	
売上高	132,279	129,609	2,669	2.0%	598,300	468,690	21.7%
営業利益	5,599	6,553	953	17.0%	35,300	28,746	18.6%
経常利益	7,867	9,792	1,925	24.5%	40,400	30,607	24.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,169	7,246	2,077	40.2%	29,000	21,753	25.0%

売上高



営業利益



セグメント別 売上高及び営業利益

1. 2025年3月期1Q
決算概要

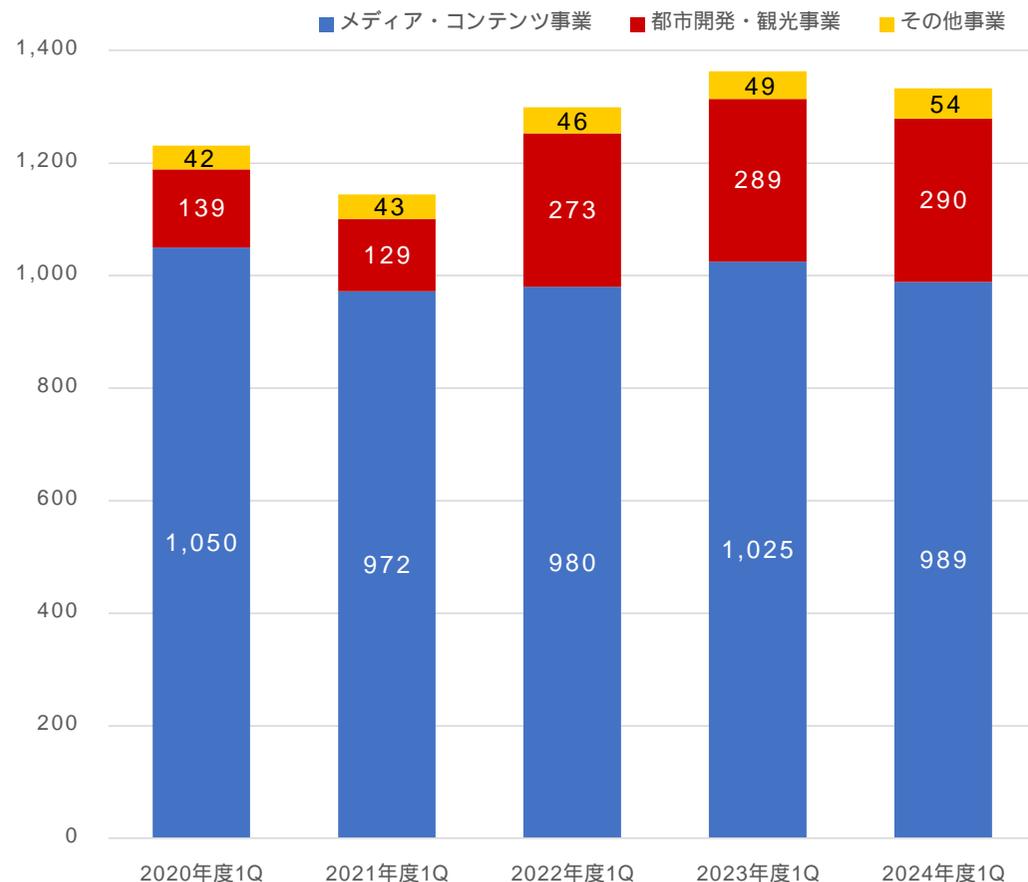
(単位：百万円)

	事業セグメント				計	調整額	連結損益 計算書 金額
	メディア・ コンテンツ 事業	都市開発・ 観光 事業	そ の 他 業				
売上高	2024年度1Q	98,944	29,031	5,458	133,435	3,825	129,609
	2023年度1Q	102,581	28,937	4,909	136,428	4,149	132,279
	増減	3,636	94	549	2,993	323	2,669
	増減(%)	3.5%	0.3%	11.2%	2.2%		2.0%
営業利益	2024年度1Q	3,035	3,848	246	7,130	576	6,553
	2023年度1Q	1,187	5,076	248	6,512	912	5,599
	増減	1,847	1,227	2	617	336	953
	増減(%)	155.6%	24.2%	0.9%	9.5%		17.0%
営業 利益率	2024年度1Q	3.1%	13.3%	4.5%	5.3%		5.1%
	2023年度1Q	1.2%	17.5%	5.1%	4.8%		4.2%

セグメント別 売上高・営業利益推移

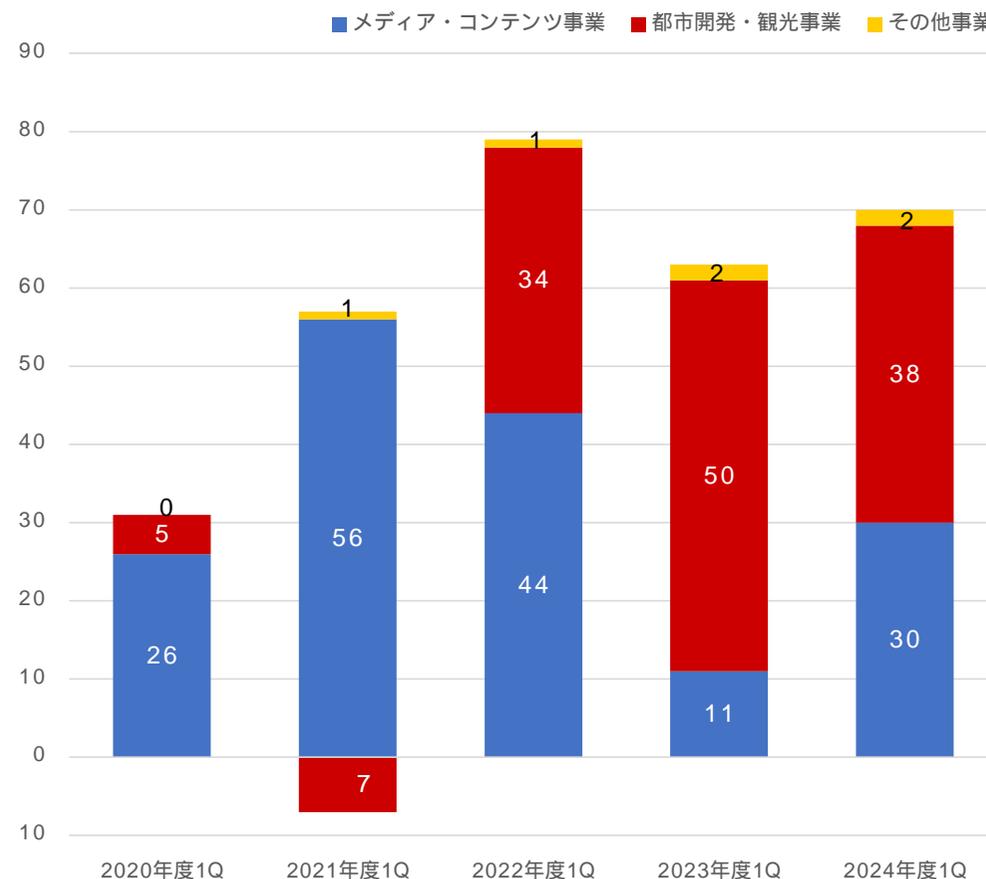
1. 2025年3月期1Q
決算概要

売上高



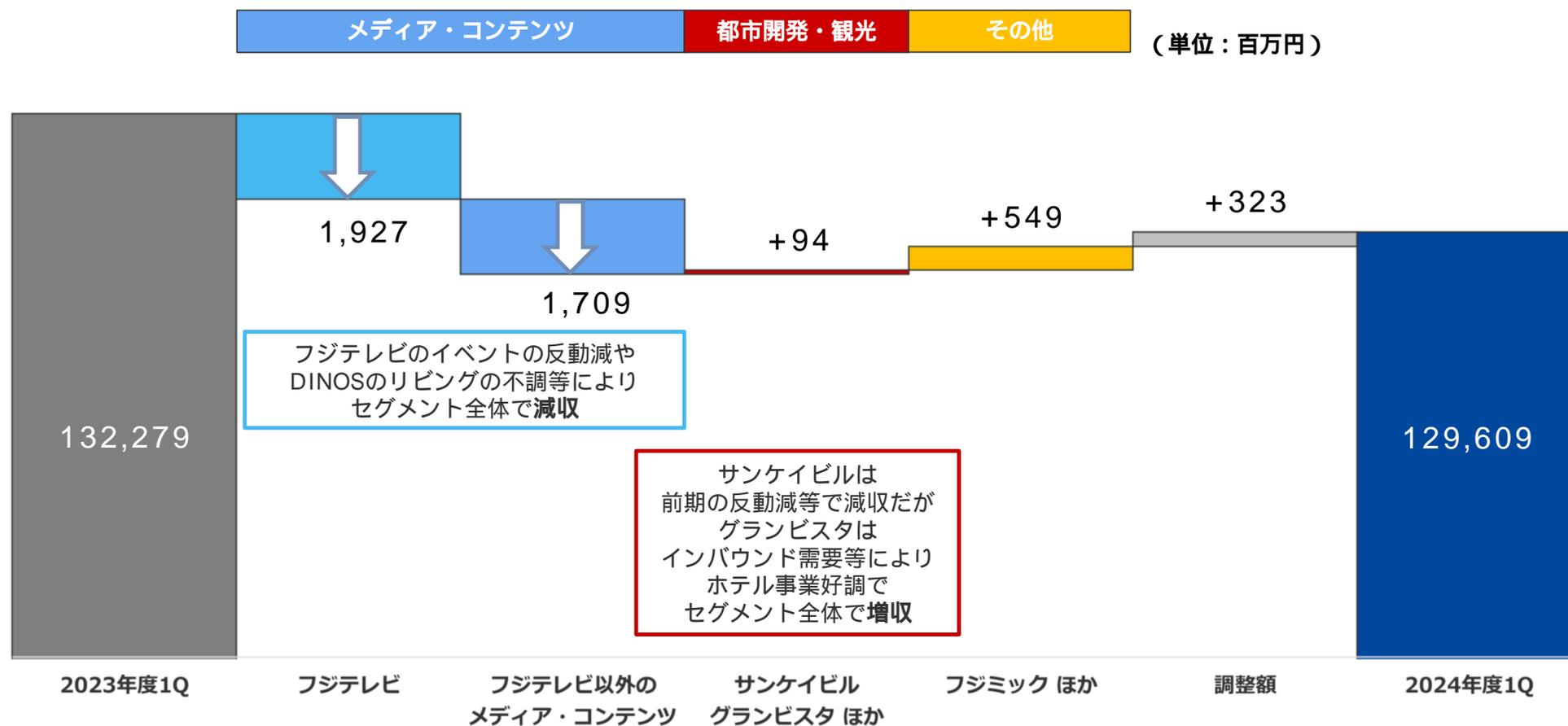
営業利益

(単位：億円)



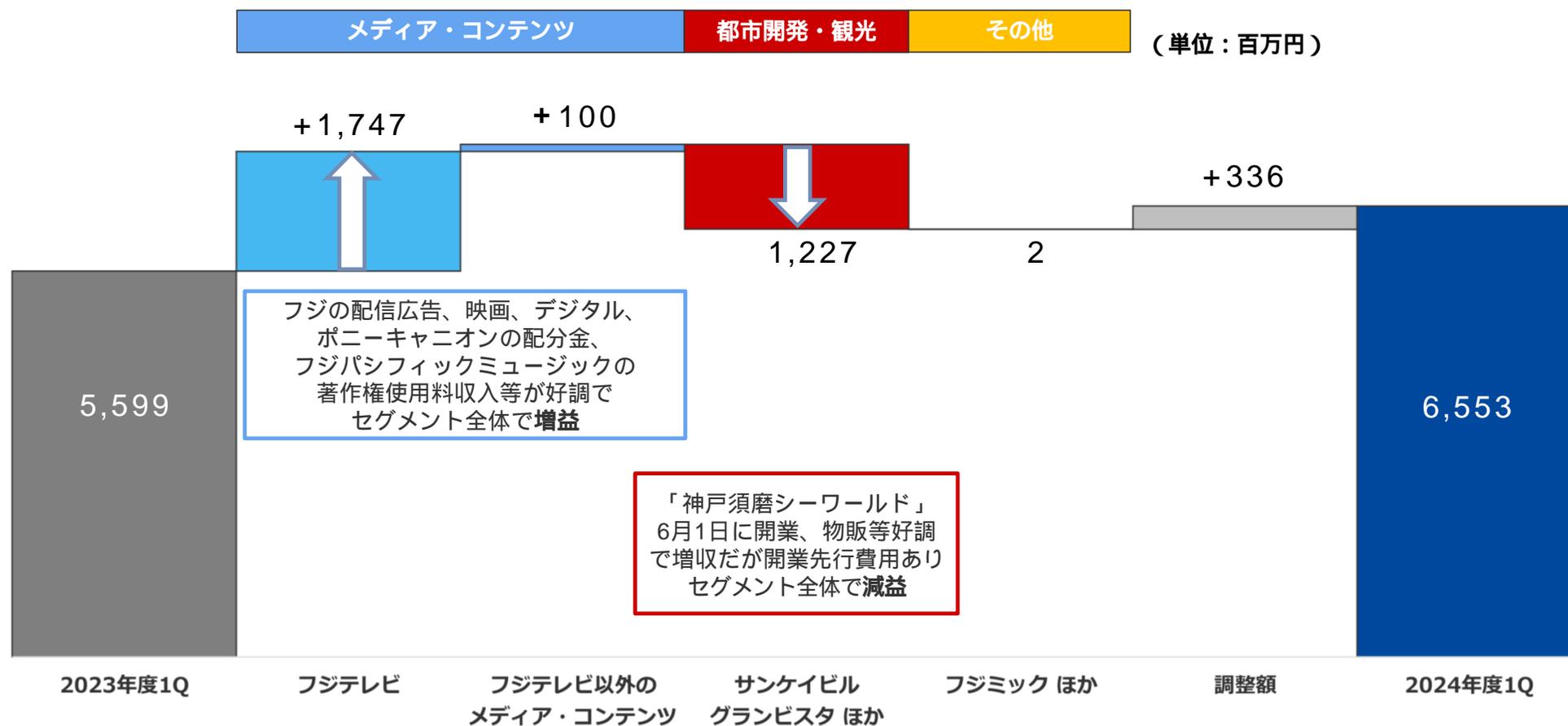
セグメント別 売上高と増減要因

1. 2025年3月期1Q
決算概要



セグメント別 営業利益と増減要因

1. 2025年3月期1Q
決算概要



連結 営業外収益・費用の主な内容

1. 2025年3月期1Q
決算概要

営業外収益の増加は、受取配当金の増加等のため

(単位：百万円)

	2023年度 1Q	2024年度 1Q	対前期増減	
営業外収益				
受取配当金	1,922	2,435	513	26.7%
持分法による投資利益	304	703	399	131.2%
その他	662	920	257	38.9%
営業外収益合計	2,889	4,059	1,170	40.5%
営業外費用				
支払利息	379	584	205	54.3%
その他	242	235	6	2.8%
営業外費用合計	621	820	199	32.0%

連結 特別利益・損失の主な内容

1. 2025年3月期1Q
決算概要

特別利益の増加は、関係会社の株式交換益計上のため

(単位：百万円)

	2023年度 1Q	2024年度 1Q	対前期増減	
特 別 利 益				
会 員 権 売 却 益	2		2	100.0%
関係会社株式交換益		235	235	
そ の 他	2	17	15	695.9%
特 別 利 益 合 計	4	252	248	
特 別 損 失				
固 定 資 産 除 却 損	45	226	181	398.5%
減 損 損 失	261		261	100.0%
投資有価証券評価損	6	100	93	
そ の 他	2	5	2	107.1%
特 別 損 失 合 計	315	332	16	5.2%

連結貸借対照表

1. 2025年3月期1Q
決算概要

(単位：百万円)

	2023年度 4Q末	2024年度 1Q末	前期末比 増減		2023年度 4Q末	2024年度 1Q末	前期末比 増減
流動資産	404,938	405,049	110	流動負債	152,437	180,622	28,184
				固定負債	426,766	407,342	19,423
固定資産	1,043,894	1,040,833	3,061	負債合計	579,204	587,964	8,760
				純資産合計	869,628	857,918	11,710
資産合計	1,448,833	1,445,882	2,950	負債・純資産合計	1,448,833	1,445,882	2,950

メディア・コンテンツ事業 決算のポイント

フジテレビの決算のポイントはP.16をご参照ください

1. 2025年3月期1Q
決算概要
メディア・コンテンツ

ビーエスフジ

減収減益

タイムは前年並みだがスポットが減収
費用コントロールしたが減益



タイムのレギュラー・
単発は前年超えの一方、
スポットが減収
番組費等の効率的な運用に
努めたが減益

ニッポン放送

減収減益



ラジオ聴取率調査で首位
放送収入は前年超えだが
イベントの反動減等あり

聴取率調査は「ショウアップナイター」
「オールナイトニッポン」等好調で
12歳～69歳・男女週平均等で首位
タイム好調で放送収入は前年超え
イベントの反動減で減収

フジクリエイティブコーポレーション

減収減益

海外番販は好調だったが
ドラマ受注の反動減あり
海外番販は旧作アニメ等が好調
制作は映画「逃走中」があったが
ドラマ受注の反動減等あり



2024 フジテレビジョン 東映 FNS27社

DINOS CORPORATION

減収営業損失縮小

リビング商材苦戦も、販促効率化で損失縮小
テレビ通販、ファッションは
堅調も、リビング系等苦戦続く
カタログの発行方法の見直し等
販促効率化で損失縮小



テレビ通販整調

ポニーキャニオン

減収増益



イベント・コンサート
配分金等好調
アニメ作品が少なく減収だが
原価等の減少で増益

ゲーム関連等のイベント
映画等の配分金等が好調
アニメ作品が少なく減収だが
原価等の減少もあり増益

フジパシフィックミュージック

増収増益

著作権使用料収入が引き続き堅調
マネージメント収入も好調

番組テーマソングやCM音楽等の
著作権使用料収入等が貢献
所属タレントのマネージメント収入等も伸長

クオラス

減収減益

マーケティング、インターネット広告等は好調
だが、イベント関連が低調
クリエイティブ等も減収となり減益

メディア・コンテンツ事業 会社別概要

1. 2025年3月期1Q
決算概要
メディア・コンテンツ

(単位：百万円)

	売上高			営業利益			営業利益率		
	2023年度 1Q	2024年度 1Q	前期比	2023年度 1Q	2024年度 1Q	前期比	2023年度 1Q	2024年度 1Q	増減
フジテレビジョン	56,509	54,582	1,927 (3.4%)	466	1,280	1,747 (-)	0.8%	2.3%	3.1%
ビーエスフジ	3,695	3,563	131 (3.6%)	815	739	76 (9.4%)	22.1%	20.7%	1.4%
ニッポン放送	3,784	3,722	61 (1.6%)	156	55	100 (64.5%)	4.1%	1.5%	2.6%
フジクリエイティブ コーポレーション	4,115	3,338	776 (18.9%)	237	195	42 (18.0%)	5.8%	5.8%	
共同テレビジョン	3,059	2,926	132 (4.3%)	91	32	124 (-)	3.0%	1.1%	4.1%

メディア・コンテンツ事業 会社別概要

1. 2025年3月期1Q
決算概要
メディア・コンテンツ

(単位：百万円)

	売上高			営業利益			営業利益率		
	2023年度 1Q	2024年度 1Q	前期比	2023年度 1Q	2024年度 1Q	前期比	2023年度 1Q	2024年度 1Q	増減
ポニーキャニオン	8,847	8,349	498 (5.6%)	140	232	92 (65.8%)	1.6%	2.8%	1.2%
フジパシフィック ミュージック	3,040	3,290	250 (8.2%)	349	352	3 (0.9%)	11.5%	10.7%	0.8%
D I N O S CORPORATION	12,857	11,909	948 (7.4%)	486	184	302 (-)	3.8%	1.5%	2.3%
クオラス	7,589	6,948	641 (8.4%)	295	79	216 (73.2%)	3.9%	1.1%	2.8%
その他及び セグメント内修正等	917	313	-	54	317	-	-	-	-

クオラスの広告出稿の実取扱高を含めた売上高は前期13,552百万円、当期12,828百万円。

フジテレビ 決算のポイント

ポイント

放送・メディア : 増収粗利益増益 : 放送収入は減収だが、配信広告収入は引き続き増収、番組費の効率的運用などで増益
コンテンツ・ビジネス : 減収粗利益増益 : 売上はイベントの反動減で減収だが、粗利益は映画、デジタル等が好調で増益
番組制作費 : 効率的に運用し減少

放送・メディア

放送収入：減収

タイム
レギュラー減収、単発は微増収
スポット
減収だが、シェアの高い「化粧品・トイレットリー」「情報・通信・放送」等好調
 6月単月は、4か月ぶりに前年実績超え

その他放送・メディア収入：増収

配信広告
 ・前期比+62.1%と引き続き増収：「化粧品・トイレットリー」「飲料」「情報・通信」等多様な業種や規模の広告主からのニーズあり好調
 ・AVOD 2冠：新作・旧作ドラマに加えバラエティも伸び、再生数・視聴時間で1位、ユニークブラウザ数で2位とAVOD2冠、3月末にTVerオリジナルスポーツニュース『すぽると！on TVer』配信開始

コンテンツ・ビジネス

映画：増収

二次利用
 前年ヒット作をはじめとするアーカイブ作品の配信権販売が好調
 コンテンツ・ビジネスの増益に貢献



デジタル：増収

FOD
 有料会員の増加が続く
 TVer無料配信等からの流入あり
 ドラマアーカイブ作品を活用したキャンペーンも奏功



©小沢かな / KADOKAWA ©フジテレビ

アニメ開発：増収

アニメ投資・海外販売
 「うる星やつら」等
 出資作品の二次利用好調
配分金・MD
 人気アニメ関連等好調



イベント：減収

「アレグリア」の反動減等あり
 今期は「オダイバ恐竜博覧会」等が好調

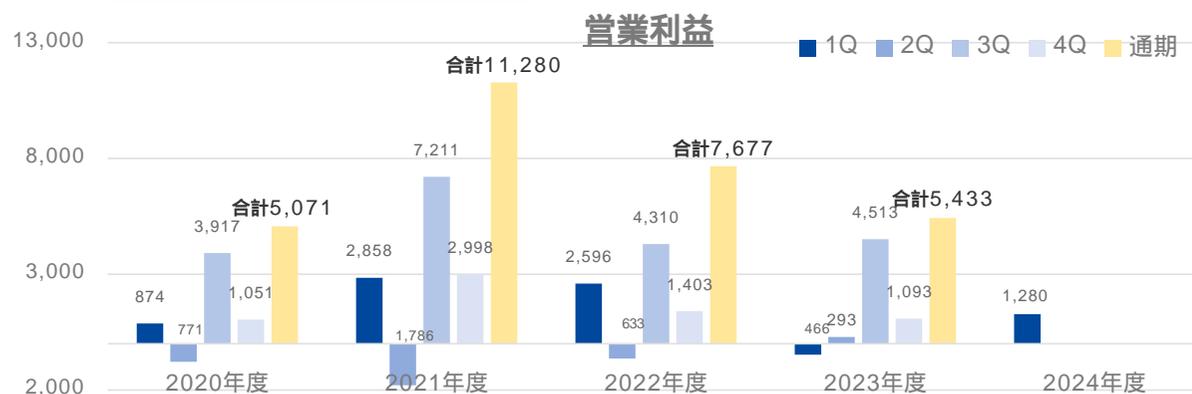


フジテレビ 決算概要

1. 2025年3月期1Q
決算概要
フジテレビ

(単位：百万円)

	2023年度 1Q	2024年度 1Q	対前期増減	
売上高	56,509	54,582	1,927	3.4%
営業利益	466	1,280	1,747	-
経常利益	403	1,351	1,754	-
四半期純利益	381	873	1,254	-



内訳別の収入及び粗利益

(単位：百万円)

	内訳			計
		放送・メディア	コンテンツ・ビジネス	
収入	2024年度1Q	44,524	10,057	54,582
	2023年度1Q	44,243	12,265	56,509
	増減	280	2,207	1,927
	増減(%)	0.6%	18.0%	3.4%
粗利益	2024年度1Q	11,837	3,148	14,986
	2023年度1Q	10,769	2,907	13,677
	増減	1,068	240	1,308
	増減(%)	9.9%	8.3%	9.6%
粗利益率	2024年度1Q	26.6%	31.3%	27.5%
	2023年度1Q	24.3%	23.7%	24.2%

販管費及び営業外損益概要

1. 2025年3月期1Q
決算概要
フジテレビ

(単位：百万円)

	2023年度 1Q	2024年度 1Q	対前期増減	
販売費及び 一般管理費	14,144	13,705	439	3.1%
販売費	9,990	9,818	171	1.7%
一般管理費	4,154	3,887	267	6.4%
営業費用合計	56,976	53,301	3,674	6.4%
営業利益	466	1,280	1,747	-
営業外収益	186	196	9	5.2%
営業外費用	122	125	2	2.0%
経常利益	403	1,351	1,754	-

放送・メディア 収入と原価

1. 2025年3月期1Q
決算概要
フジテレビ

(単位：百万円)

	2023年度 1Q	2024年度 1Q	対前期増減	
放送・メディア収入	44,243	44,524	280	0.6%
放送収入	36,142	35,313	829	2.3%
ネットタイム	15,411	14,933	477	3.1%
ローカルタイム	2,354	2,402	47	2.0%
スポット	18,377	17,976	400	2.2%
その他の放送・メディア収入	8,100	9,211	1,110	13.7%
配信広告	1,196	1,939	743	62.1%
番組販売	3,745	3,666	78	2.1%
CS放送・その他	3,159	3,605	446	14.1%
放送・メディア原価	33,473	32,686	787	2.4%
放送・メディア粗利益	10,769	11,837	1,068	9.9%

スポット収入 業種別動向

高シェアの「情報・通信・放送」「化粧品・トイレタリー」「食品」等好調
「交通・レジャー・観光」は昨年度に続き、好調を維持

業種	2023年度1Q シェア	2024年度1Q シェア	対前期増減
化粧品・トイレタリー	12.4%	14.5%	14.4%
情報・通信・放送	11.8%	13.2%	9.9%
食品	7.9%	8.8%	9.2%
非アルコール飲料	9.4%	8.5%	10.7%
交通・レジャー・観光	7.0%	8.1%	13.6%
外食・各種サービス	8.9%	7.2%	20.8%
アルコール飲料	5.8%	5.6%	4.5%
金融・保険	6.1%	5.4%	14.0%
自動車・関連品	3.9%	4.6%	14.7%

(2024年4月～2024年6月) 管理ベース

業種	2023年度1Q シェア	2024年度1Q シェア	対前期増減
医薬品・医療用品	4.5%	4.5%	1.9%
事務・精密・光学機器	3.6%	4.0%	8.9%
出版・エンタテインメント	4.3%	3.1%	27.8%
不動産・住宅設備	2.5%	3.1%	20.0%
衣料・身回品・雑貨	3.0%	2.8%	10.2%
流通・小売業	3.5%	2.2%	37.3%
家電・AV機器	2.2%	1.7%	23.3%
エネルギー・機械	0.0%	0.9%	—
電話サービス	0.7%	0.7%	6.8%
その他	2.5%	1.1%	54.4%

番組制作費

効率的な運用により前年より減少

(単位：百万円)

	2023年度	2024年度	対前期増減	
第1四半期	17,000	16,103	897	5.3%
第2四半期	17,320			
上期	34,321			
第3四半期	17,151			
第4四半期	16,785			
下期	33,936			
通期	68,258			

自社制作番組及び購入番組の直接費

コンテンツ・ビジネス 収入と原価

(単位：百万円)

	2023年度 1Q	2024年度 1Q	対前期増減	
			対前期増減	対前期増減率
コンテンツ・ビジネス 収入	12,265	10,057	2,207	18.0%
催物事業収入	3,707	599	3,108	83.8%
映画事業収入	1,369	1,678	308	22.6%
デジタル事業収入	3,235	4,131	895	27.7%
MD事業収入	1,660	1,243	416	25.1%
アニメ開発事業収入	1,027	1,069	41	4.1%
ビデオ事業収入	153	246	93	60.9%
その他の収入	1,110	1,088	22	2.0%
コンテンツ・ビジネス 原価	9,357	6,909	2,448	26.2%
コンテンツ・ビジネス 粗利益	2,907	3,148	240	8.3%

配信関連 配信広告とデジタル事業

3種類の
配信関連
ビジネス

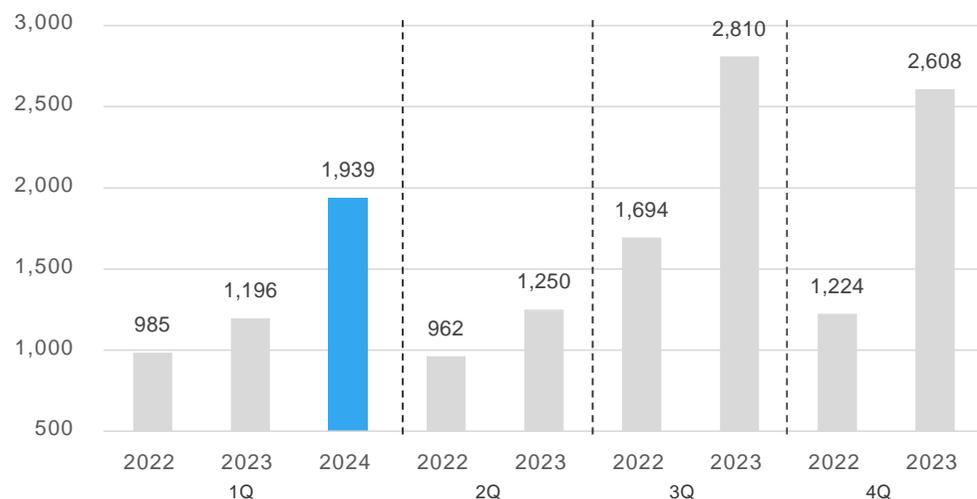
配信広告 : 「TVer」等を通じたAVOD
デジタル事業 : 「FOD」のSVOD、「FNNプライムオンライン」「めざましmedia」、コンテンツ販売
その他 : 「映画事業」や「アニメ開発事業」等によるコンテンツ販売

実績

と : 配信広告収入19億円、デジタル事業収入41億円といずれも増収、1Qで合計60億円に。
 : 当期も再生数と視聴時間で1位。ユーザー、広告主ともに拡大基調。
 : ライブラリーを含めた作品の貢献。

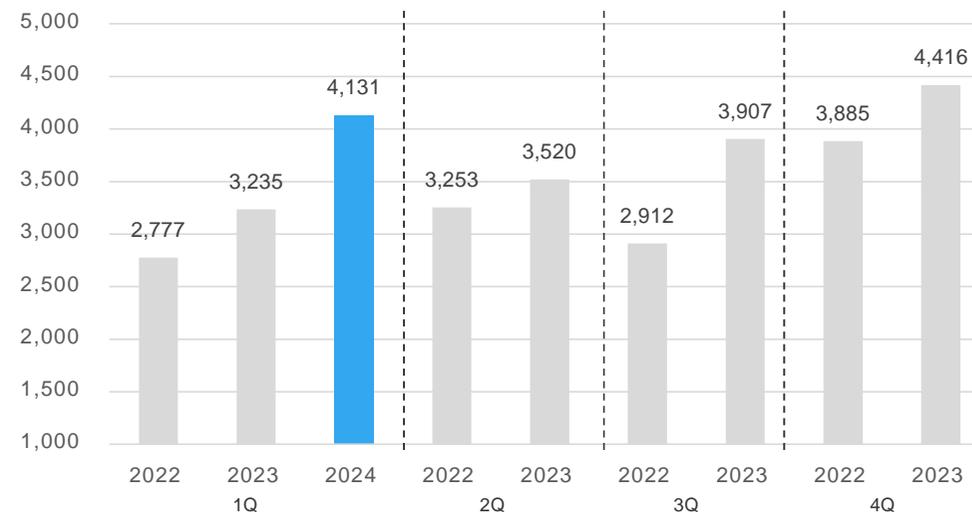
(単位: 百万円)

配信広告売上高



ドラマを中心にアーカイブ作品の戦略的な活用もありユーザー増
 さまざまな業種や規模の広告主からの出稿が続く

デジタル事業売上高



FOD有料会員数は2022年11月に100万人を突破、以降も増加基調
 地上波やTVerとの連動、アーカイブを活用したキャンペーンも奏功

サンケイビル（都市開発） 決算のポイント

ポイント

減収減益 : 前期の大型の物流施設やオフィスビルの売却による反動減
賃貸 : レジデンス「ルフォンプログレ」、オフィス、ホテル等の賃貸収入が堅調に推移
販売・売却 : 物流施設、賃貸マンション等の売却は堅調も、前期の大型物件売却による反動あり

賃貸：増収増益

オフィス、ホテル等多様なアセットで、賃料、稼働率ともに高水準

住宅等



ルフォンプログレ
西大井プレミア

ルフォンプログレ
「ルフォンプログレ西大井プレミア」
(135戸+店舗1区画：2024年1月竣工)
「ルフォンプログレ押上 EAST」
(90戸：2024年1月竣工)
「ルフォンプログレ堺筋本町
タワーレジデンス」
(169戸：2024年2月竣工)
「ルフォンプログレ品川戸越」
(58戸+店舗1区画：2024年3月竣工)

オフィス等



ブリーゼタワー

オフィス
前期に取得した「ブリーゼタワー」等も寄与
ホテル
「アロフト東京銀座」
「ホテルインターゲート大阪 梅田」
等がインバウンドや国内の旺盛な観光需要で好調

販売・売却：減収減益

物流施設、投資家等向けの賃貸マンション等の売却は好調
前期の大型の物流施設やオフィスビル等売却による反動で減収減益

住宅等



ルフォン松戸北小金

新築分譲マンション
「ルフォン松戸北小金」(60戸：完売)
「ルフォン上野松が谷」(34戸：残1戸)
賃貸マンション
「ルフォンプログレ学芸大学」(31戸)

オフィス等



MCUD 小牧北

物流施設
「MCUD 小牧北」
敷地面積約36,800㎡・延床面積約43,700㎡
名神・東名両高速の起終点である「小牧
IC」、東海北陸自動車道「岐阜各務原IC」
2つのIC及び3つの高速道路を利用可能
投資家向け賃貸マンション
「浅草橋三丁目PJ」(72戸+店舗1区画)

グランビスタ ホテル&リゾート(観光)・その他 決算のポイント

1. 2025年3月期1Q
決算概要
観光・その他

ポイント

増収減益：ホテル事業は、欧米や東南アジアのインバウンド需要等により増収
「神戸須磨シーワールド」は6月1日に開業、飲食、物販等の売上好調
その開業に向けた先行費用があり減益

グランビスタ ホテル&リゾート：増収減益

その他

ホテル



ホテルインターゲート
東京 京橋

引き続き好調

インバウンドの旺盛な需要等により国内観光の活況で稼働率、平均単価ともに前期を上回る水準

「札幌グランドホテル」「札幌パークホテル」
国内需要を中心に稼働率、単価ともに好調に推移

「インターゲートホテルズ」
東京 京橋・大阪 梅田を中心に前期以上の
インバウンド需要で稼働率とともに単価も上昇

海洋レジャー等



神戸須磨
シーワールド

神戸須磨シーワールド好調スタート

「神戸須磨シーワールド」6月1日に開業
滞在時間も長く、飲食、物販も好調に推移
併設する「神戸須磨シーワールドホテル」も高稼働
開業の先行費用あり減益

サンケイビルマネジメント

保守清掃警備は前期に受注した案件が
期初から業績に寄与し増収

内装工事は大型工事等の受注で増収

サンケイビルウェルケア

入居者の増加等で増収増益



都市開発・観光事業 会社別概要

1. 2025年3月期1Q
決算概要
都市開発・観光

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2023年度 1Q	2024年度 1Q	前期比	2023年度 1Q	2024年度 1Q	前期比
サンケイビル	16,931	15,866	1,064 (6.3%)	3,778	2,948	830 (22.0%)
グランピスタ ホテル&リゾート	7,037	8,807	1,770 (25.2%)	711	651	59 (8.4%)
その他及び セグメント内 修正等	4,969	4,357	-	586	248	-

営業利益率		
2023年度 1Q	2024年度 1Q	前期比
22.3%	18.6%	3.7%
10.1%	7.4%	2.7%
-	-	-

参考：サンケイビルグループ連結事業別内訳（FMHとは連結対象が異なります）

	売上高			営業利益		
	2023年度 1Q	2024年度 1Q	前期比	2023年度 1Q	2024年度 1Q	前期比
賃貸事業	5,766	6,035	268	1,265	1,309	44
販売・売却事業	11,164	9,853	1,310	2,868	2,159	708
ホテルリゾート 事業	7,490	9,786	2,295	690	792	101

営業利益率		
2023年度 1Q	2024年度 1Q	前期比
21.9%	21.7%	0.2%
25.7%	21.9%	3.8%
9.2%	8.1%	1.1%

目次

- 1 2025年3月期1Q 決算概要
- 2 2025年3月期 通期業績予想とトピックス
- 3 株主への利益還元
- 4 中期グループビジョンを通じた資本収益性向上の取り組み
- 5 サステナビリティの取り組み
- 6 参考資料

2025年3月期通期 連結業績予想（修正なし）

2. 2025年3月期
通期業績予想

（単位：百万円）

	2024年3月期 通期実績	2025年3月期 通期予想	対前期増減	
			絶対増減	増減率
売上高	566,443	598,300	31,856	5.6%
営業利益	33,519	35,300	1,780	5.3%
経常利益	39,173	40,400	1,226	3.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	37,082	29,000	8,082	21.8%

【フジテレビ】広告収入の2025年3月通期見込み（修正なし）

	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	対前期増減	
			絶対増減	増減率
ネットタイム	63,551	64,500	949	1.5%
ローカルタイム	10,135	10,000	135	1.3%
スポット	73,662	74,000	338	0.5%
放送収入合計	147,348	148,500	1,152	0.8%

セグメント別業績予想（修正なし）

2. 2025年3月期
通期業績予想

（単位：百万円）

	事業セグメント			合計	調整額	連結損益 計算書 計上額	
	メディア・ コンテンツ 事業	都市開発・ 観光 事業	その 他 業				
売上高	2025年3月期 通期予想	434,000	164,500	19,800	618,300	20,000	598,300
	2024年3月期 通期実績	433,663	128,316	19,818	581,799	15,355	566,443
	増減率	0.1%	28.2%	0.1%	6.3%	—	5.6%
営業利益	2025年3月期 通期予想	16,500	20,700	900	38,100	2,800	35,300
	2024年3月期 通期実績	15,706	19,537	944	36,187	2,667	33,519
	増減率	5.1%	6.0%	4.7%	5.3%	—	5.3%

設備投資計画と減価償却費（計画修正なし）

2. 2025年3月期
通期業績予想

（単位：百万円）

		2025年3月期		2026年3月期
		1Q （実績）	通期 （計画）	通期 （計画）
設備投資額	連結	11,534	80,000	78,000
	フジテレビ	1,174	8,000	6,000
	都市開発・観光事業	8,907	65,000	65,000
	フジ・メディアHD	1,023	4,500	3,200
減価償却費	連結	4,771	20,600	21,000
	フジテレビ	1,504	6,500	6,800
	都市開発・観光事業	1,837	8,500	8,600
	フジ・メディアHD	490	2,300	2,600

メディア・コンテンツ事業 今後のトピックス

2. 2025年3月期
メディア・コンテンツ

フジ テレビ

放送収入の維持・拡大とともに
配信（広告・デジタル・販売）や
映画・アニメなどのコンテンツ系の成長へ

放送・メディア

放送：2Qの単発は「27時間テレビ」「パリ五輪」
スポットはシェアの大きい業種の一層の回復を期待

配信：ドラマのレギュラー、アーカイブ
バラエティの見逃し配信等でユーザーの
更なる利用増と、それに伴う様々な業種や
規模の広告主の利用増を見込む



コンテンツ・ビジネス

映画：「劇場公開」と「二次利用」の二本柱
「逃走中 THE MOVIE」7月19日公開
「赤羽骨子のボディガード」8月2日公開
「スオミの話をしよう」9月13日公開予定



デジタル：FODの有料会員拡大に向け
イベント「お台場冒険王」の有力コンテンツ
「めざましLIVE」を独占配信



アニメ：アーカイブ作品の海外展開促進や
人気アニメの配分金の拡大を目指す



海外番販：新旧のアニメ、ドラマ、
バラエティ等多様なコンテンツの販売

ポニー ミュージック 音楽やアニメを配信、パッケージ等で販売 海外拠点でのビジネス本格化

音楽

Official髭男dism「Rejoice」
7月24日発売



アニメ

『2.5次元の誘惑』「少年ジャンプ+」人気作
2024年7月放送開始
『ユーベルブラッド』2025年1月放送開始



©橋本悠 / 集英社・リリサ製作委員会

海外展開

米国と台湾に現地法人を設立、コンテンツの海外展開等を目指す

DINOS CORPORATION 商品の絞り込みと 効率的な販促で改善を目指す

商品：オンタイム需要・季節感に対応した売れ筋商品
の開発、テレビ通販における積極的な新商品の投入のほか
好調なファッションや「健康」商材に期待

販促：“ずっと「使いたくなる」がここにある”を
テーマに基幹カタログを「DINOS STORY」として刷新
各カタログの発行時期、ページ数、部数を見直し、
WEBのUI/UX改善、リテンション施策を強化



サンケイビル

賃貸



台東二丁目
賃貸レジデンス

志村坂上賃貸レジデンス計画
79戸：2024年10月竣工予定
台東二丁目賃貸レジデンス計画
99戸：2025年1月竣工予定
江東区永代一丁目賃貸レジデンス計画
69戸：2025年3月竣工予定



SANKEILOGI府中
敷地面積約16,877㎡・延床面積約39,617㎡
RC+S造 4階・スロープ型(1・2階バース)
1・4階成約済、2・3階募集中
2024年9月竣工予定

販売・分譲



ルフォン上野松が谷
2024年9月竣工予定
34戸(残1戸)・店舗1区画
2024年11月より引き渡し予定



ルフォン船堀 ザ・タワーレジデンス
2025年5月竣工予定
133戸
2025年6月より引き渡し予定

グランビスタ ホテル&リゾート

ホテル



札幌パークホテル

札幌グランドホテル・札幌パークホテル
国内外観光需要による宿泊の一層の伸びと法人向け大型宴会の売上増に期待
インターゲートホテルズ
東京、大阪、京都等の大都市圏を中心にインバウンド観光客の増加を見込む

神戸須磨



神戸須磨シーワールド
「トワイライトの
シャチパフォーマンス」

6月1日に全面開業、一層の成長へ

神戸須磨シーワールド
多数の来客や滞留時間の長さに合わせて人員の確保や導線の検討等、体制の一層の整備を進める
神戸須磨シーワールドホテル(全80室)
日本初、イルカとふれ合える「ドルフィンラグーン」を常設
その他、宿泊者限定のサービスを検討しより一層の付加価値を提供

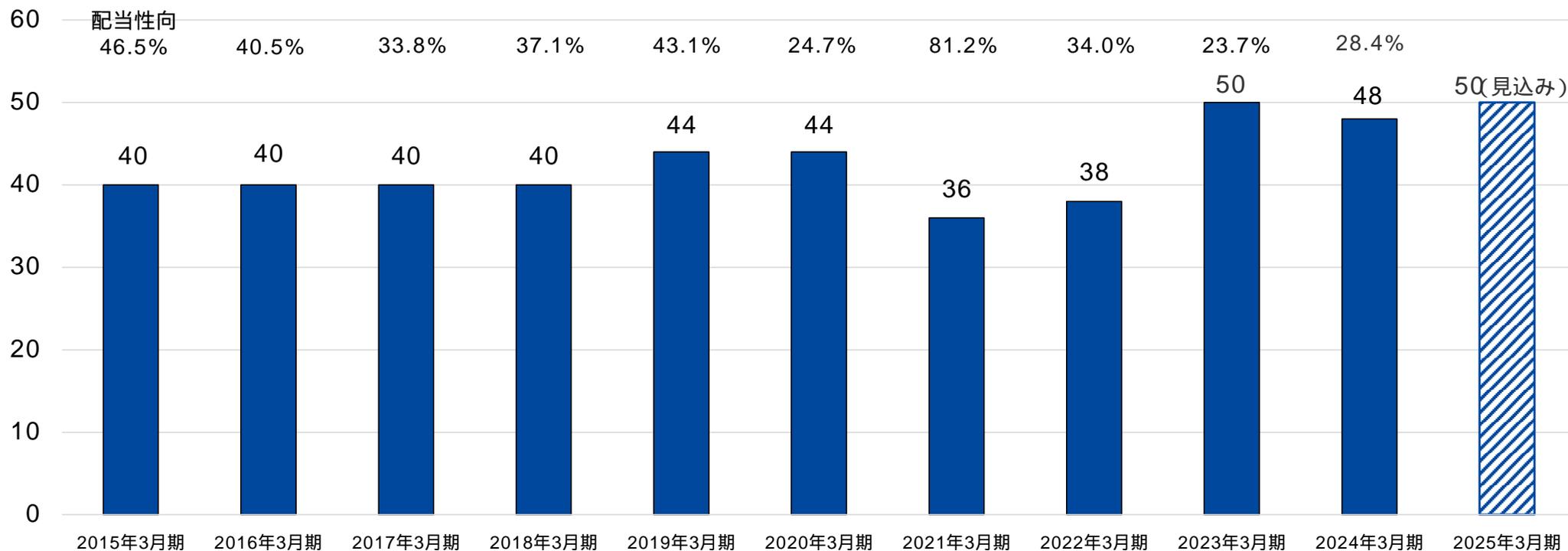
目次

- 1 2025年3月期1Q 決算概要
- 2 2025年3月期 通期業績予想とトピックス
- 3 **株主への利益還元**
- 4 中期グループビジョンを通じた資本収益性向上の取り組み
- 5 サステナビリティの取り組み
- 6 参考資料

株主への利益還元：配当

方針

2025年3月期 年間配当50円（見込み・対前期比+2円）
連結ベースの配当性向40%を基本に、配当の安定性等を考慮して決定



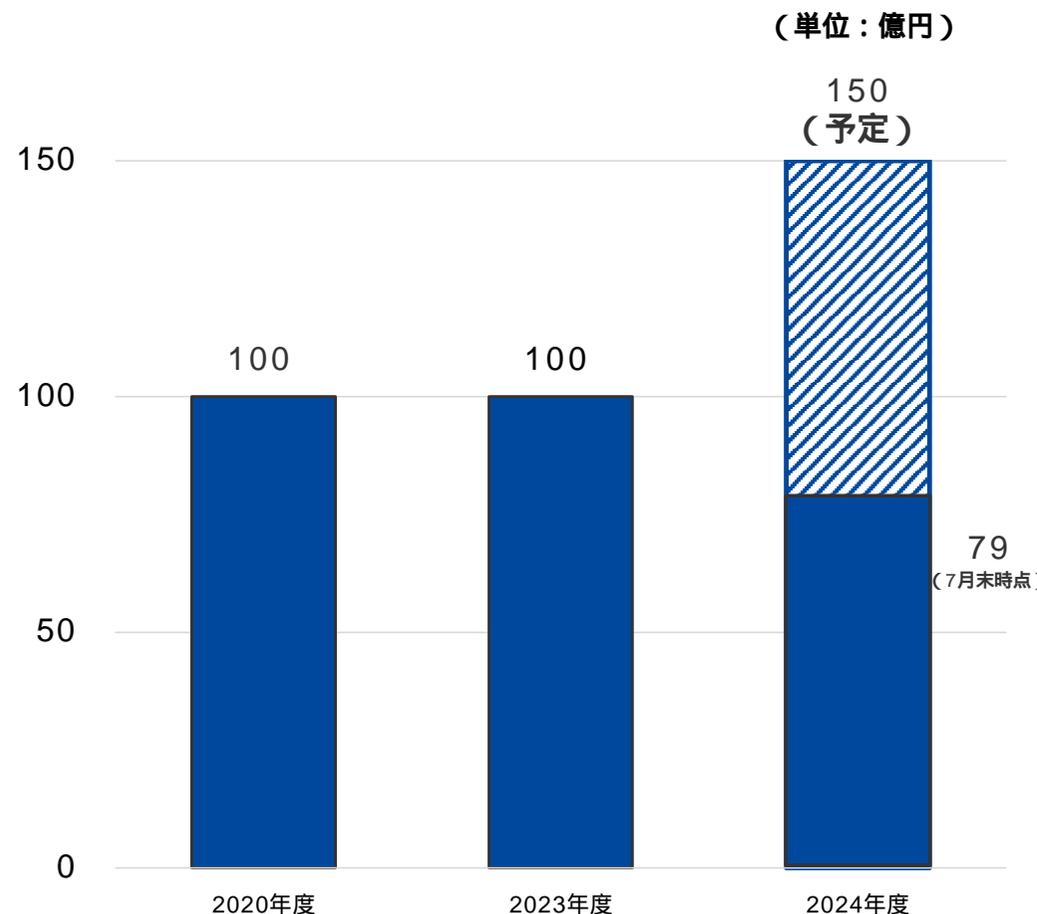
2019年3月期の年間配当には、普通配当40円以外に認定放送持株会社移行10周年及び（株）フジテレビジョン開局60周年記念配当4円を含む
2023年3月期の年間配当には、普通配当40円以外に認定放送持株会社移行15周年及び（株）フジテレビジョン開局65周年記念配当10円を含む
名義書換を拒否した外国人に対する配当金の支払いについて
当社は2009年3月期より、放送法の規定により議決権割合20%以上となり株主名簿への記載を拒否する外国人に対しても、配当の支払いを実施

自己株式取得の考え方

機動的な自己株式取得等の資本政策を遂行し
資本収益性を高め、株主利益の向上を図る

実績と2024年度の進捗

- ・ 2020年度および2023年度で
合計200億円の自己株式取得を実施
- ・ 2024年度も150億円実施予定
7月末までに79億円取得済



目次

- 1 2025年3月期1Q 決算概要
- 2 2025年3月期 通期業績予想とトピックス
- 3 株主への利益還元
- 4 **中期グループビジョンを通じた資本収益性向上の取り組み**
- 5 サステナビリティの取り組み
- 6 参考資料

中期グループビジョン 概要（2023年5月公表）

業績目標

「人々が心を潤し、生活を豊かにするすべてのもの」を「コンテンツ」と捉え一人ひとりの生活スタイルに適ったメディア・販路・提供手段で届けることで
2025年度に連結営業利益400億円を目指す

事業の 方向性

メディア・コンテンツ事業

2025年度営業利益目標：240億円

- ・生活者との接点の拡大と創出
- ・コンテンツ制作の体制強化
- ・コンテンツ強化への投資加速

都市開発・観光事業

2025年度営業利益目標：180億円

- ・都市開発：アセットタイプの拡大や大規模開発の発掘
- ・観光：国内観光需要・インバウンド回復の取り込み
- ・一定の財務規律のもとでの投資の拡大

財務の 方向性

成長のための投資を継続・株主還元を重視し資本収益性の向上へ

- ・バランスシートの見直しと戦略的活用により、成長投資を推進
- ・安定的な配当の継続と、機動的な自己株取得の検討により、株主還元をさらに強化
- ・成長投資への活用に向け、「政策保有株式」を投下資本の20%以下への減少を目指す
- ・成長投資等に向け、連結自己資本比率50%を下限に、外部借入を拡大
- ・資本収益性の向上と成長期待・株主還元の推進でPBR上昇を目指す

非財務の 方向性

ガバナンス体制の向上・人的資本の強化、サステナビリティの推進

- ・経営諮問委員会の設置
- ・女性管理職比率の向上
- ・成長戦略実現や新たな価値創造に貢献できる多様な人財の獲得・育成
- ・2050年のカーボンニュートラル実現を目指す

中期グループビジョン 今後の方針（2024年5月公表）

4. 中期グループビジョン
今後の方針

資本収益性の向上

政策保有株式

成長投資および株主還元の推進に向け、
2030年度までに純資産比20%未満を目標とする

成長投資

外部借入や保有資産の見直し等により
キャッシュを創出し利益を拡大する成長投資を継続

配当

配当は連結ベースの配当性向40%を基本に
安定性等を考慮して決定

自己株式取得

前期・今期に続き来期以降も
自己株式取得の継続的な実施を検討

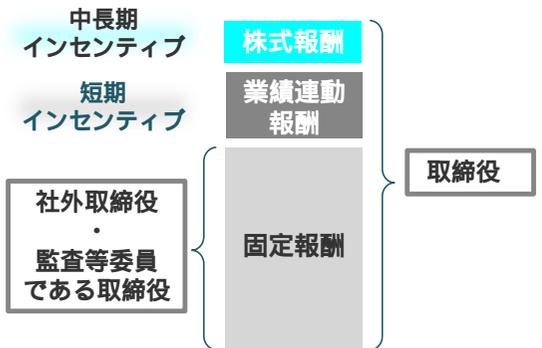
ガバナンス

役員報酬

取締役に対し譲渡制限付株式報酬を導入（2024年6月）

目的：株主との一層の価値共有を進め、
グループの企業価値の持続的な向上を
図るためのインセンティブを付与
譲渡制限期間：退任時まで

**ROE 5%以上を
目指す**



社外取締役・監査等委員である取締役を除く

中期グループビジョン 2024年度の予定と進捗

4. 中期グループビジョン
2024年度の予定

業績

連結営業利益目標：353億円
1Q：65億円（進捗率18.6%）

事業の 方向性

メディア・コンテンツ事業

目標：165億円・1Q：30億円（進捗率18.4%）

- ・フジテレビ：配信広告＋デジタルの拡大
- ・ポニーキャニオン：配分金、イベント等の収益拡大
- ・フジパシフィックミュージック：著作権収入の更なる成長

都市開発・観光事業

目標：207億円・1Q：38億円（進捗率18.6%）

- ・サンケイビル：賃貸、販売・売却の一層の拡大
- ・グランビスタ：「神戸須磨シーワールド・シーワールドホテル」開業、飲食、物販など好調

財務の 方向性

自己株式取得の継続、成長投資も引き続き実施

- ・成長投資：都市開発・観光を中心に115億円実施
- ・株主還元：自己株式取得79億円実施（7月末時点：今年度実施予定150億円に対し53%）
- ・資金調達：サンケイビル等で借入実施、営業CFに加えて外部資金も有効活用

非財務の 方向性

サステナビリティの推進、ガバナンス体制の一層の向上

- ・「人権小委員会」を設置、1年余りかけて「人権デューディリジェンス」実施予定
- ・譲渡制限付株式報酬として自己株式75百万円処分
- ・2024年6月の株主総会で、独立社外取締役を1名増員

目次

- 1 2025年3月期1Q 決算概要
- 2 2025年3月期 通期業績予想とトピックス
- 3 株主への利益還元
- 4 中期グループビジョンを通じた資本収益性向上の取り組み
- 5 **サステナビリティの取り組み**
- 6 参考資料

サステナビリティの取り組み

フジ・メディア・ ホールディングス 人権小委員会設置

人権デューディリジェンス等の具体的な活動へ

人権尊重への一層の意識向上と体制の充実、また、お取引先を含むステークホルダーの皆様と共に人権等に関する取り組みを強化するために2023年11月30日に「フジ・メディア・ホールディングス グループ人権方針」（グループ人権方針）を策定し、発表

今般「グループ人権方針」で掲げた事項を適切に遂行するため「グループコンプライアンス等委員会」のもとに「グループ人権小委員会」を設置

当委員会は「グループ人権方針」の策定に続くステップとして、人権デューディリジェンス（人権DD）等の具体的な活動により、方針で表明した内容の推進および啓発のために発足したものであり、課題を設定し、リスク軽減の対応策を検討し、またその対応の評価等の人権DDを、およそ一年かけて推進していく予定

仙台放送

「眼からはじめる やさしい街づくり」 連携協定を締結

社会課題の解決を目的として、業界・団体を超えた4者で連携協定を締結

仙台放送は、国立大学法人東北大学、日本生命保険相互会社と共に、2023年8月から東北大学大学院医学系研究科眼科学分野

中澤徹教授監修のもとで、眼疾患の早期発見に向けた取り組みを開始。

今般、仙台市を含む4者による協定「眼からはじめるやさしい街づくり」を締結し、仙台市民の「眼科検診」受診機会を広げる「移動眼科検診」を仙台市内で実施へ



サステナビリティの取り組み

サンケイビル
ルフォン船堀
ザ・タワー
レジデンス
ResReal
計画認証を
日本初取得

「ルフォン船堀 ザ・タワーレジデンス」 ResReal 計画認証を日本初取得

近年都市部においても台風や集中豪雨による水災害が頻発する環境のなか、被災時に建物の機能維持や回復性能を示す「レジリエンス」の観点への注目が集まる

ResReal は自然災害に対する不動産のレジリエンスの定量化・可視化を目的とした認証制度。これまで既存建物のみが対象だったが、1月より開発中物件に対して認証を行う「計画認証」が開始され、本物件が当該計画認証を第一号物件として取得

* ResRealとは

自然災害に対する不動産のレジリエンスを定量化・可視化する認証制度。地震や津波といった災害、台風や豪雨による氾濫や土砂災害など、日本の気候風土に即した自然災害リスクの評価指標として創設された。なかでも ResReal (水害版) は、評価対象となる不動産の「頑強性 (立地・建物)」、「冗長性」、「即応性」、「代替性」の4要素とともに、雨水貯留槽の設置や地域との連携といった取組みの先進性を考慮して評価される。本物件の認証においては、「レジリエンスが高い」に分類される、評価 3 (Silver) を取得



国内初取得となる「CASBEE 街区2023年版Sランク」をはじめ、さまざまな環境認証等を取得

神戸須磨Parks + Resorts 共同事業体が、須磨海浜水族園・海浜公園再整備事業で、一般財団法人住宅・建築SDGs推進センターの

「CASBEE 街区評価認証制度」S ランクをはじめ

「BELS (建築物省エネルギー性能表示制度)」

「建築物エネルギー消費性能向上計画認定」「サステナブル省CO2 先導事業採択」

「省エネ街区形成事業採択」「災害時の強靱性向上支援事業採択」の計6つの環境認証等を取得



神戸須磨Parks + Resorts 共同事業体

代表企業：株式会社サンケイビル (本社：東京都千代田区、代表取締役社長：飯島一暢)

構成員：三菱倉庫株式会社 (本社：東京都中央区、代表取締役社長：斉藤秀親)、J R西日本不動産開発株式会社 (本社：大阪府大阪市北区、代表取締役社長：藤原嘉人)、

株式会社竹中工務店 (本社：大阪府大阪市中央区、取締役社長：佐々木正人)、阪神電気鉄道株式会社 (本社：大阪府大阪市福島区、代表取締役社長：久須勇介)、

芙蓉総合リース株式会社 (本社：東京都千代田区、代表取締役社長：織田寛明)、株式会社グランピスタ ホテル&リゾート (本社：東京都千代田区、代表取締役社長：荒井幸雄)

サンケイビル等
神戸須磨
シーワールド等で
さまざまな
環境認証等を取得

目次

- 1 2025年3月期1Q 決算概要
- 2 2025年3月期 通期業績予想とトピックス
- 3 株主への利益還元
- 4 中期グループビジョンを通じた資本収益性向上の取り組み
- 5 サステナビリティの取り組み
- 6 **参考資料**

財務業績推移

6. 参考資料
財務業績推移

(金額単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
売上高	631,482	519,941	525,087	535,641	566,443
営業利益	26,341	16,274	33,338	31,401	33,519
当期純利益 <small>親会社株主に帰属する</small>	41,307	10,112	24,879	46,855	37,082
売上高当期純利益率	6.5%	1.9%	4.7%	8.7%	6.5%

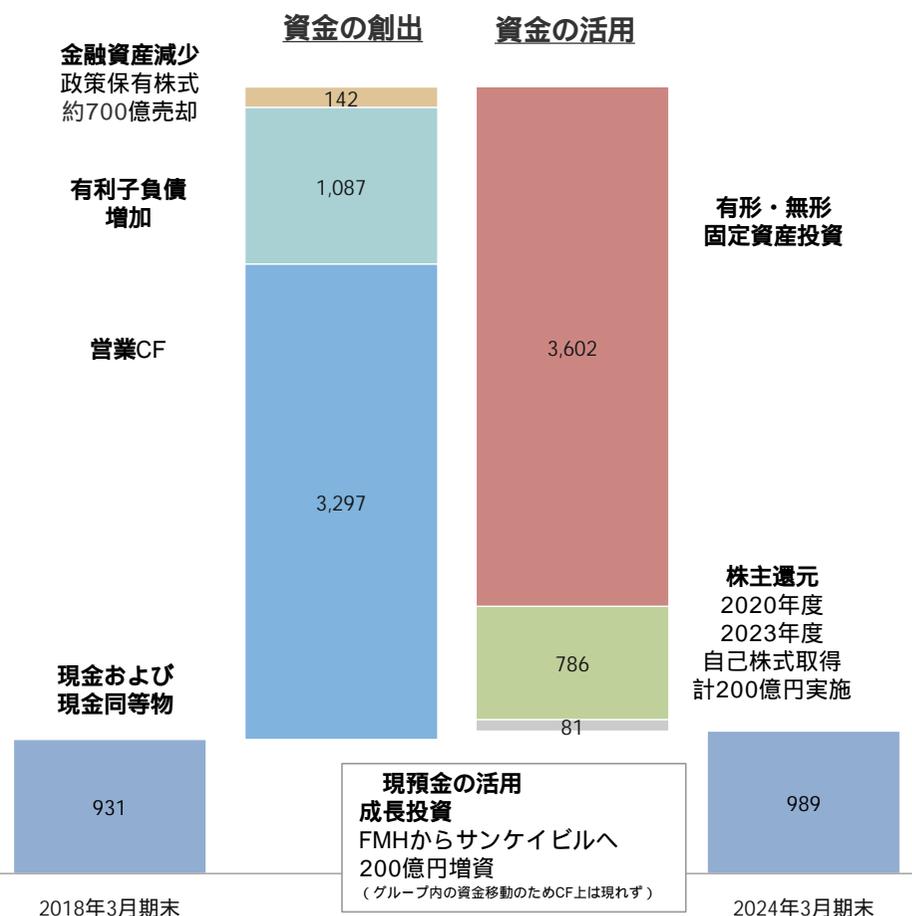
有利子負債	247,915	288,403	272,148	276,900	324,760
純資産	745,574	784,429	808,788	848,769	869,628
投下資本(有利子負債+純資産)	993,490	1,072,833	1,080,937	1,125,670	1,194,389
総資産	1,254,613	1,336,042	1,335,991	1,382,646	1,448,833

政策保有株式(FMH)	173,095	233,466	236,808	227,445	216,356
対投下資本割合	17.42%	21.76%	21.91%	20.21%	18.11%
対純資産割合	23.22%	29.76%	29.28%	26.80%	24.88%

自己資本比率	58.6%	57.9%	59.7%	60.6%	59.2%
総資産当期純利益率	3.2%	0.8%	1.9%	3.4%	2.6%
自己資本当期純利益率	5.6%	1.3%	3.2%	5.7%	4.4%
株価収益率	6.0	30.6	10.5	5.7	11.7
株価純資産倍率	0.34	0.39	0.33	0.32	0.50

資金の活用状況と設備投資実績

直近6年の資金の活用状況



設備投資実績

(単位：億円)

	メディア・コンテンツ	都市開発	その他			
19年3月期	本社ビル土地(底地)取得 放送機材の取得 スタジオ設備・ 物流関連設備の改修・更新	242	オフィスビル、ホテル及び シニア施設開発用地の取得	464	事務用機器などの リース資産の取得	6
20年3月期	放送機材の取得 スタジオ設備の更新 中継車等のリース資産の取得	132	ホテル、オフィスビル及び シニア施設の取得	247	事務用機器などの リース資産の取得	5
21年3月期	編集用設備の更新 放送機材の取得 スタジオ設備の更新	60	オフィスビル建設、賃貸物件 及びホテルの開発用地取得	359	事務用機器などの リース資産の取得	2
22年3月期	スタジオ設備・ 放送用回線設備の更新 放送機材の取得	55	オフィスビル建設や 賃貸物件開発用地の取得	320	事務用機器などの リース資産の取得	2
23年3月期	スタジオ設備の更新 放送機材の取得	57	オフィスビルや 賃貸レジデンス の開発用地等の取得	450	事務用機器などの リース資産の取得	5
24年3月期	スタジオ設備の更新 放送機材の取得	68	オフィスビルや 賃貸レジデンス の開発用地等の取得	914	事務用機器などの リース資産の取得	3
合計		614		2,754		23

*有価証券報告書の「設備投資等の概要」等から引用した数値であり、
キャッシュフロー計算書上の有形・無形固定資産投資の数値とは異なる

セグメント別 資産等

(単位：百万円)

		事業セグメント			合計	調整額	連結財務 諸表計上額
		メディア・ コンテンツ事業	都市開発・ 観光事業	その他事業			
営業利益	2024年度1Q	3,035	3,848	246	7,130	576	6,553
	2023年度1Q	1,187	5,076	248	6,512	912	5,599
	増 減	1,847	1,227	2	617	336	953
	増減(%)	155.6%	24.2%	0.9%	9.5%	-	17.0%
資産	2024年度1Q末	517,017	593,753	22,559	1,133,330	312,552	1,445,882
	2023年度1Q末	506,102	519,742	22,320	1,048,166	332,553	1,380,719
	増 減	10,914	74,010	239	85,164	20,001	65,162
	増減(%)	2.2%	14.2%	1.1%	8.1%	-	4.7%

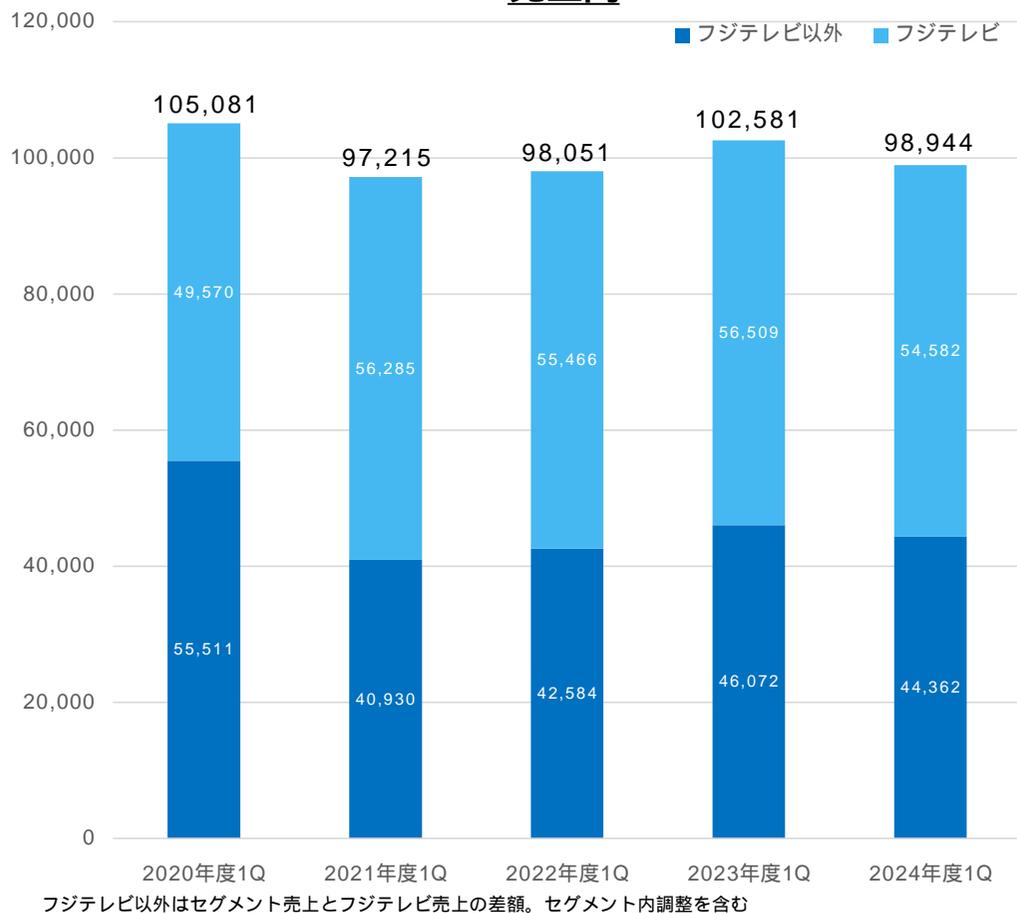
セグメント情報（連結子会社）

6. 参考資料
連結子会社

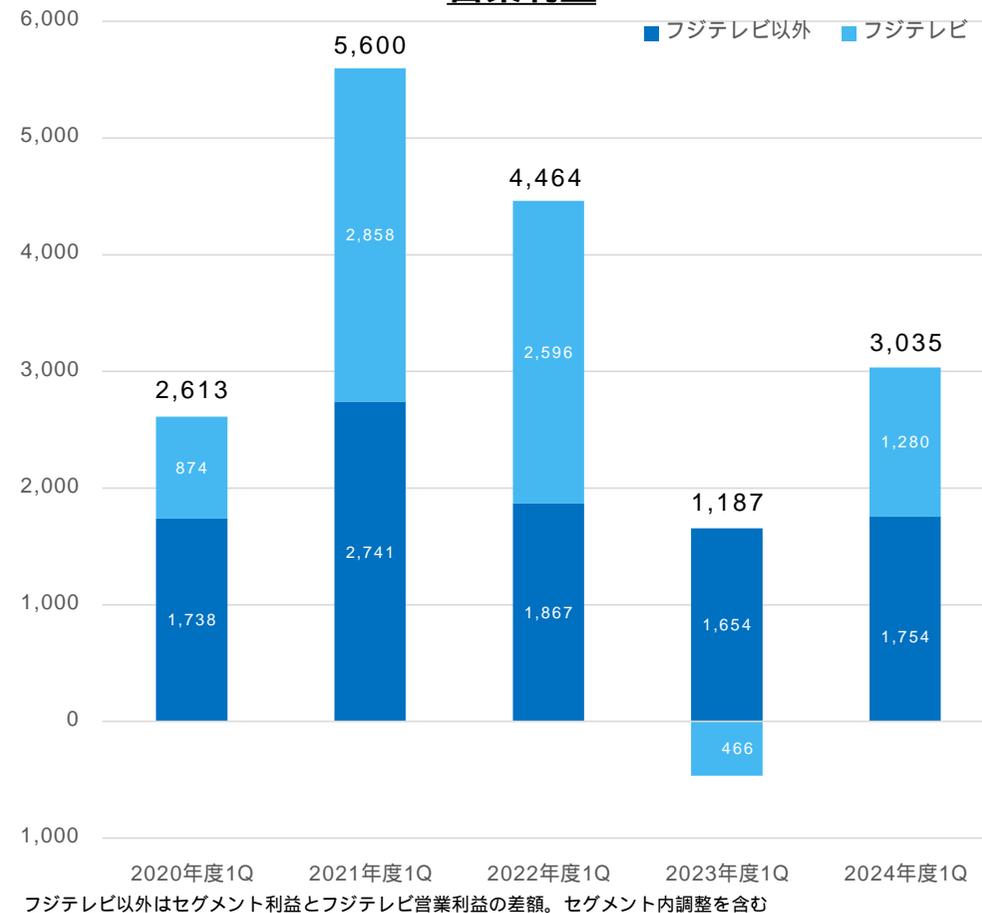
セグメント	会社名	会社数
メディア・コンテンツ	フジテレビジョン、ビーエスフジ、ニッポン放送、仙台放送、 フジクリエイティブコーポレーション、共同テレビジョン、ポニーキャニオン、 フジパシフィックミュージック、DINOS CORPORATION、クオラス、扶桑社、NEXTEP、 フジアール、フジ・メディア・テクノロジー、共同エディット、バスク、バンエイト、 ベイシス、フジ・ミュージックパートナーズ、 シンコーミュージック・パブリッシャーズ、グレイブ、イミニ免疫薬粧、 FUJI MUSIC GROUP, INC.、ARC/CONRAD MUSIC LLC	24社
都市開発・観光	サンケイビル、グランビスタ ホテル&リゾート、 サンケイビルマネジメント、サンケイビルテクノ、サンケイビルウェルケア、 サンケイ会館、サンケイビル・アセットマネジメント、 SKB USA LLC、SKB PORTLAND LLC	9社
その他	フジミック、ニッポン放送プロジェクト、フジキャリアデザイン、 FUJISANKEI COMMUNICATIONS INTERNATIONAL, INC.	4社
合計		37社

メディア・コンテンツ事業 業績推移

メディア・コンテンツ事業の内訳の推移 (単位: 百万円)
売上高

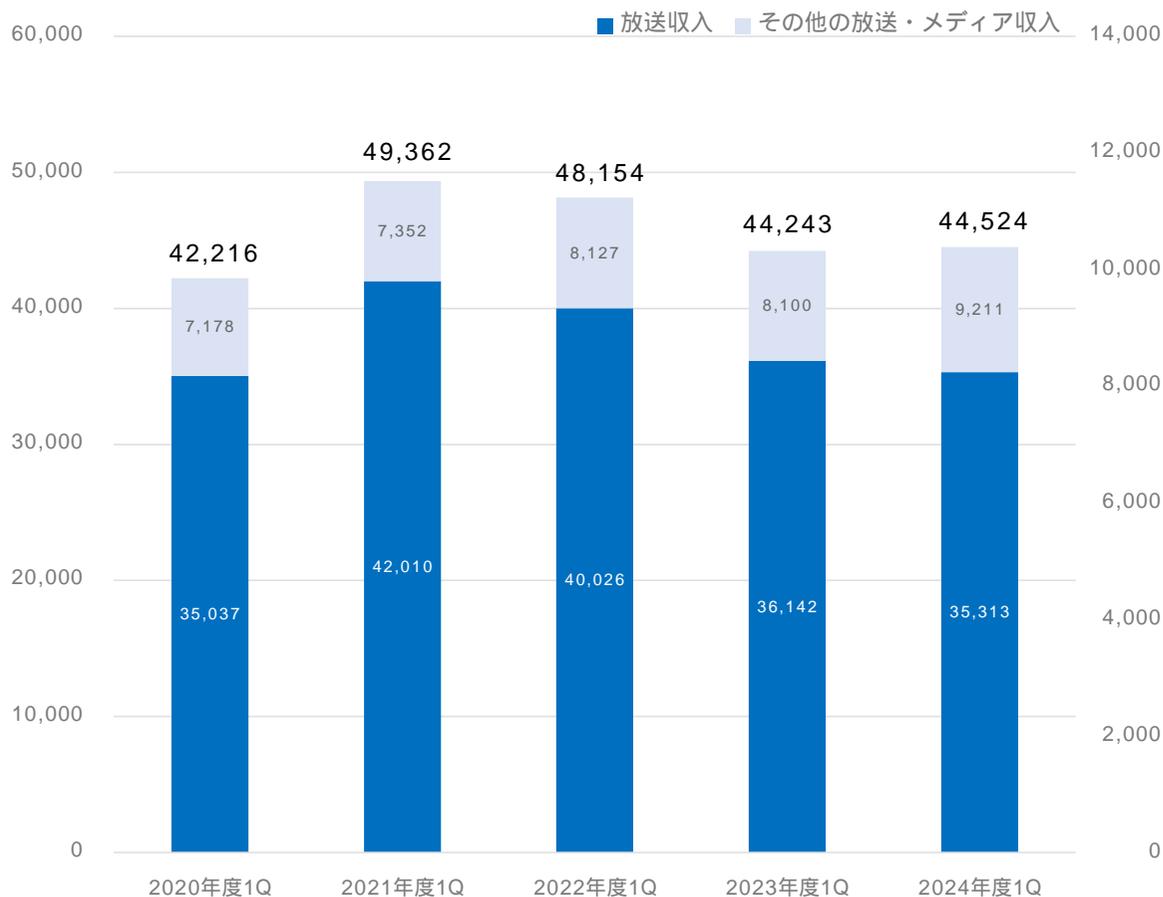


営業利益

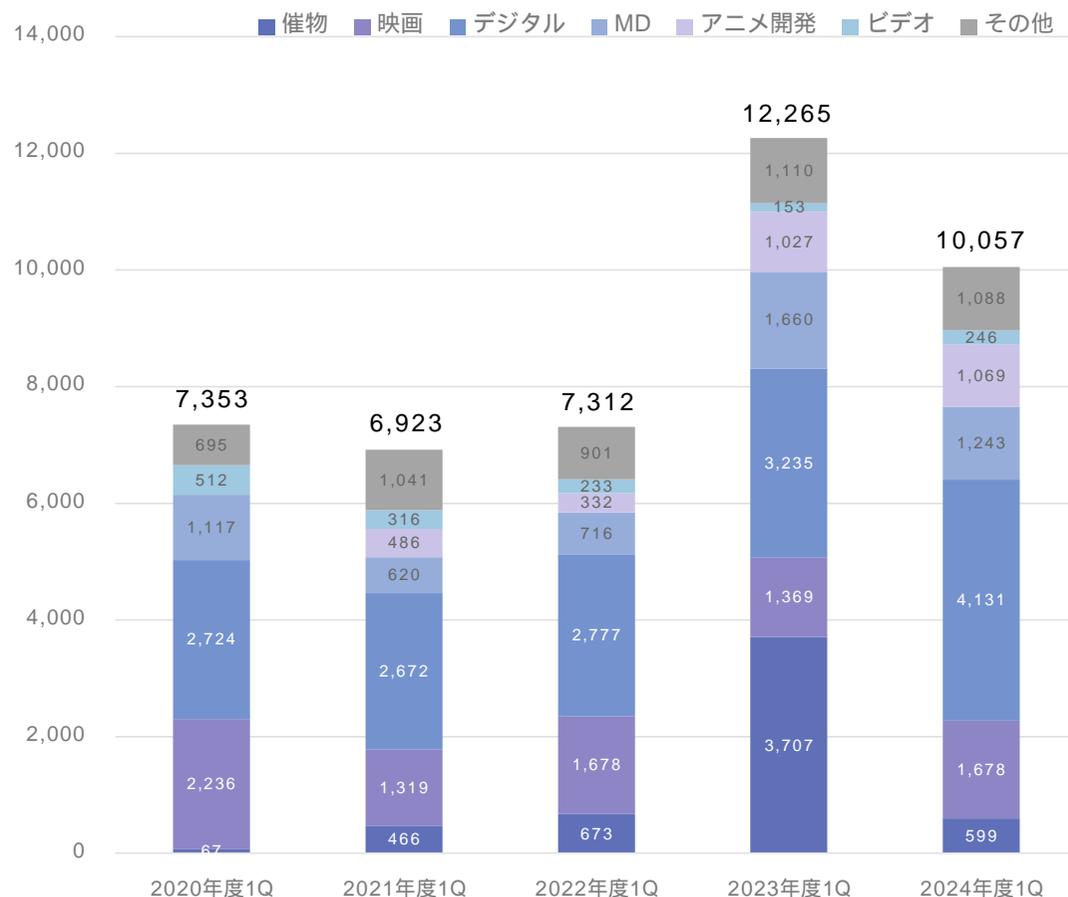


フジテレビ 業績推移

放送・メディア収入の売上内訳推移 (単位: 百万円)



コンテンツ・ビジネス収入の売上内訳推移 (単位: 百万円)



フジテレビ放送・メディア 推移

広告収入

(単位：百万円・%)

	2023年度				2024年度				対前期比増減				対前期比			
	ネット	ローカル	スポット	合計	ネット	ローカル	スポット	合計	ネット	ローカル	スポット	合計	ネット	ローカル	スポット	合計
1Q	15,411	2,354	18,377	36,142	14,933	2,402	17,976	35,313	477	47	400	829	96.9%	102.0%	97.8%	97.7%
2Q	16,325	2,451	15,820	34,598												
上期	31,737	4,806	34,197	70,741												
3Q	16,396	2,706	19,980	39,083												
4Q	15,418	2,622	19,484	37,524												
下期	31,814	5,329	39,464	76,607												
通期	63,551	10,135	73,662	147,348												

視聴率

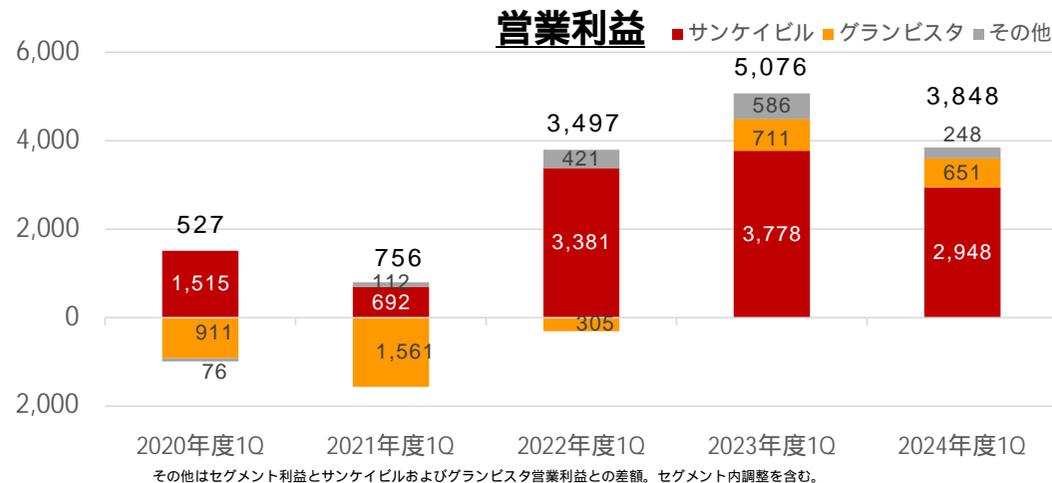
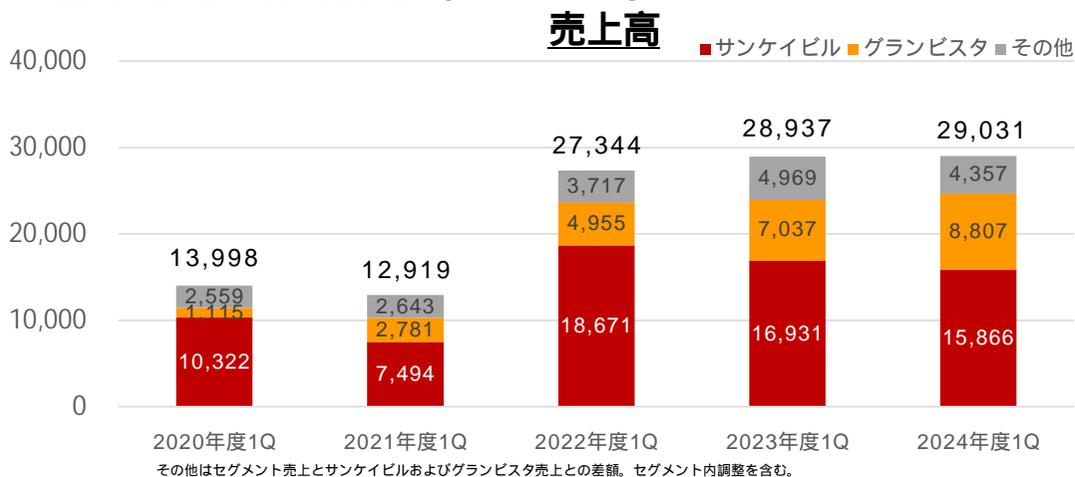
* ビデオリサーチ調べ ・関東地区：ゴールデン：19時～22時 ・プライム：19時～23時 ・全日：6時～24時 ・個人、個人全体：4歳以上 ・コア、コアターゲット：13歳～49歳

1Q 2024年4月1日～6月30日	ゴールデン		プライム		全日	
	個人	コア	個人	コア	個人	コア
フジテレビ	3.3	2.7	3.3	2.6	2.2	1.6
日本テレビ	5.1	3.9	4.7	3.8	3.2	2.3
テレビ朝日	5.0	2.0	5.0	2.0	3.4	1.1
TBSテレビ	4.2	2.9	4.0	2.8	2.6	1.4
テレビ東京	3.0	1.2	2.6	1.1	1.1	0.4
PUT	30.0	15.5	27.9	14.9	18.1	8.5

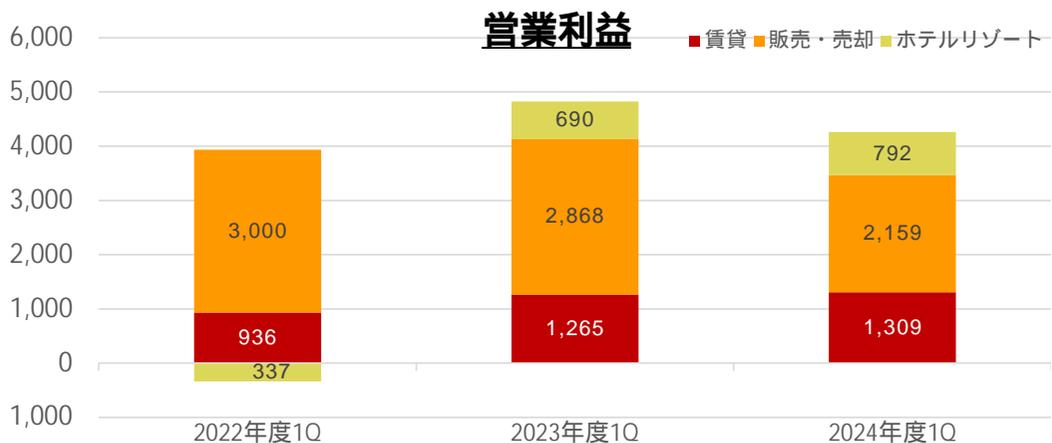
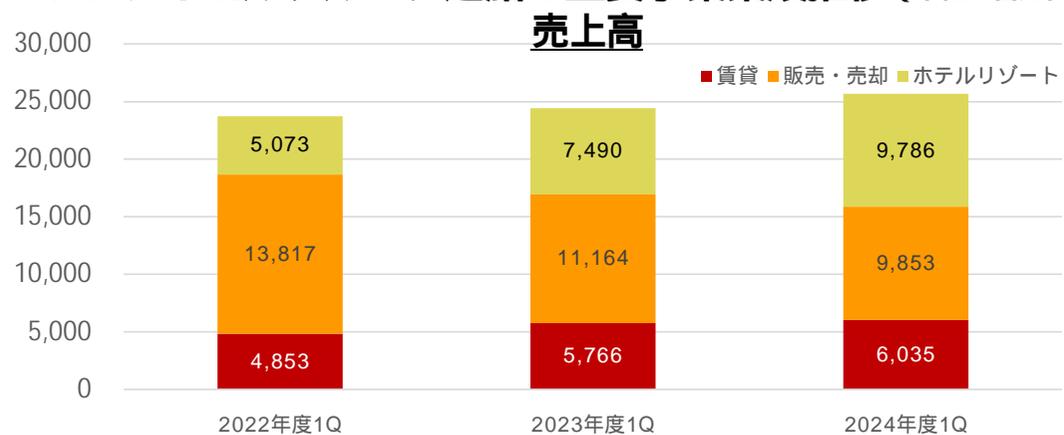
(単位：%)

都市開発・観光事業 業績推移

企業等別の業績推移 (単位: 百万円)



サンケイビルグループ連結の主要事業業績推移 (単位: 百万円)

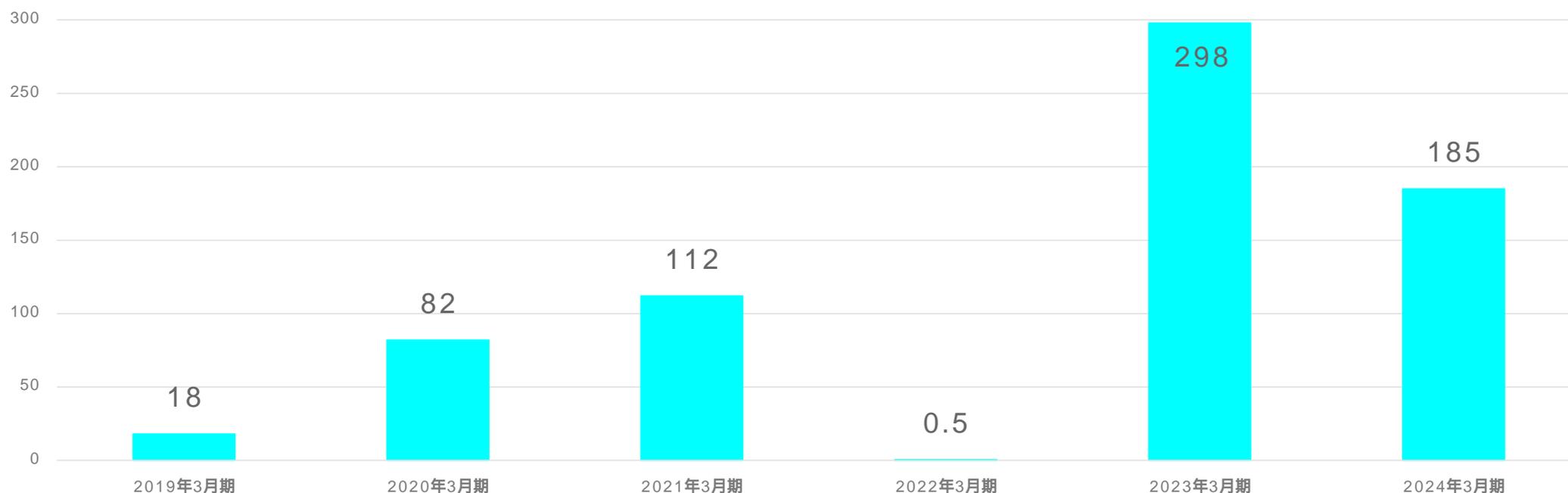


中期グループビジョン 政策保有株式の縮減

考え方

取締役会において、銘柄ごとに、当社グループとの取引関係や規模、当該企業の業績や配当、株価などの定量的な側面も考慮の上、保有の合理性・必要性を検証
保有意義の希薄化が認められる銘柄等については、縮減の対象として検討
2030年度までに純資産比20%未満を目標とする

過去6年間（2019年3月期～2024年3月期）で約700億円の縮減



本資料には当社及び当社の関係会社・出資先企業の見通し、目標、予想数値等、将来に関する記述が含まれている場合があります。実際の業績は今後の事業運営、経済情勢、金融市場その他の状況変化等さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

【HP】

<https://www.fujimediahd.co.jp/>

【統合報告書】

<https://www.fujimediahd.co.jp/ir/integrated.html>



© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.